

施策番号	0901		
施策名	観光スタイルの質の向上		
概要	じっくり滞在・宿泊し、京都の日常生活や文化、芸術、食、産業、知恵、自然など、ほんものとふれあう観光や、歩いて楽しむことをはじめとする「環境モデル都市・京都」にふさわしい環境にやさしい観光など、「質の高い観光スタイル」が定着することを目指す。		
担当局・部室	産業観光局・観光部	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関係する 主な分野別計画等	未来・京都観光振興計画2010 ^{＋5}		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	延べ宿泊数(万泊)	-	-	-	1414.5	-	-	-	
2	マイカー入洛率(%)	-	-	-	26.9	-	-	-	
3	ほんものとふれあう観光ができた観光客の割合(%)	-	-	-	30.1	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				-	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	じっくり滞在し，ほんものとふれあい，歩いて楽しむ観光客が増えている。	70	201	210	59	16	556	b	
		12.6%	36.2%	37.8%	10.6%	2.9%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						b	

100%
80%
60%
40%
20%
0%

1

- そう思う
- ▒ どちらかと言う
そう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言う
そう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	-	☒ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度 -
(原因分析) ・客観指標について、京都観光総合調査は、未来・京都観光振興計画2010 ^{＋5} に基づく観光の質の向上を測ることなどのために平成22年度から開始したもので、前年度との比較による評価ができないため、今年度は評価を行っていない。 ・市民生活実感評価については、滞在・宿泊型観光や環境にやさしい歩く観光等が、市民にも認識されていることにより、b評価になったものと考えられる。 ・総合評価は、市民生活実感評価の結果により、B評価となった。						年度 -

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	入洛観光客実態調査	5,803	5,525	かなり良い	産業観光局
2	京都一周トレイル運営	8,837	8,537	かなり良い	産業観光局
3	保勝会事業補助	4,897	4,897	良い	産業観光局
4	観光事業者共同事業	18,376	20,404	悪い	産業観光局
5	ロケ支援事業(フィルムツーリズム含む。)	8,448	9,174	かなり良い	産業観光局
6	オール京都の観光振興体制づくり推進事業	17,722	15,971	悪い	産業観光局
7	ニューツーリズム創出事業	6,868	6,732	良い	産業観光局
8	旅の本質を追求する京都観光総合調査の実施	11,186	15,534	かなり良い	産業観光局
9	広域観光対策(三都物語)	11,092	7,871	かなり良い	産業観光局
10	首都圏を中心とした観光宣伝活動	8,773	8,773	かなり良い	産業観光局
11	首都圏における観光シティセールスの展開	9,593	9,809	かなり良い	産業観光局
12	関西観光情報センター運営(関空内)	2,819	2,820	かなり良い	産業観光局
13	観光関連団体分担金	4,901	4,901	良い	産業観光局
14	京都市ユニバーサルツーリズム推進事業	1,422	8,022	良い	産業観光局
15	観光立国・日本 京都拠点	0	32,083	-	産業観光局
16	宇多野ユースホテル	107,700	111,504	かなり良い	産業観光局
17	おこしやす“京都・やましな”スタンプラリー	2,950	-	かなり良い	区役所
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・東日本大震災とそれに伴う原発事故により、京都観光は大きな影響を受け、震災直後に宿泊施設の状況が平年の5割から6割まで落ち込んだ。その後、平成23年6月からは回復の兆しを見せているものの、今後の観光景況を注視する必要がある。
・じっくり滞在・宿泊し、ほんものとふれあう観光や、歩いて楽しむことをはじめとする「環境モデル都市・京都」にふさわしい環境にやさしい観光など、「質の高い観光スタイル」が定着するよう施策を実施していく。

施策名	0901	観光スタイルの質の向上				
-----	------	-------------	--	--	--	--

指標名	延べ宿泊数（万泊）					
-----	-----------	--	--	--	--	--

担当課	観光企画課	連絡先	2 2 2 - 4 1 3 0		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

入洛観光客の延べ宿泊日数

2 指標の意味

京都観光の「質の向上」に資する滞在・宿泊型観光の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：観光客の宿泊者数×平均宿泊日数
出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	1414.5		-	前年度からの改善	-

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-

備考

・京都観光総合調査は、平成22年度から始めたものであり、平成21年度の数値との比較ができないため、評価は次年度から行う。
・数値の公表時期の関係により、評価は推計値で行い、前回数値については実数に修正する。

1 指標の説明

自家用車で入洛した観光客の割合

2 指標の意味

京都観光の「質の向上」に資する環境にやさしい歩く観光の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：マイカー入洛観光客数÷観光客数
出典：京都観光総合調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	26.9		-	前年度からの改善	-

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	-

備考

・京都観光総合調査は、平成22年度から始めたものであり、平成21年度の数値との比較ができないため、評価は次年度から行う。
・数値の公表時期の関係により、評価は推計値で行い、前回数値については実数に修正する。

施策名	0901	観光スタイルの質の向上																							
指標名	ほんものとふれあう観光ができた観光客の割合（％）																								
担当課	観光企画課		連絡先	2 2 2 - 4 1 3 0																					
1 指標の説明 京都観光総合調査における「歴史や伝統文化などの奥深さを感じることができたか」という項目に7段階中7の評価「大変そう思う」と回答した観光客の割合																									
2 指標の意味 京都観光の「質の向上」に資するほんものとふれあう観光の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等 出典：京都観光総合調査																						
4 数値 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">数値</th><th>前回数値</th><th>最新数値</th><th rowspan="2">推移</th><th colspan="3">目標値</th></tr> <tr> <th>年度</th><th>22年度</th><th>数値</th><th>根拠</th><th>達成度</th></tr> <tr> <td></td><td>-</td><td>30.1</td><td></td><td>-</td><td>前年度からの改善</td><td>-</td></tr> </table>							数値	前回数値	最新数値	推移	目標値			年度	22年度	数値	根拠	達成度		-	30.1		-	前年度からの改善	-
数値	前回数値	最新数値	推移	目標値																					
	年度	22年度		数値	根拠	達成度																			
	-	30.1		-	前年度からの改善	-																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">数値</th><th rowspan="2">全国順位</th><th colspan="3">中長期目標</th><th rowspan="2">根拠</th></tr> <tr> <th>数値</th><th>目標年次</th><th>達成度</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						数値	全国順位	中長期目標			根拠	数値	目標年次	達成度							備考 ・京都観光総合調査は、平成22年度から始めたものであり、平成21年度の数値との比較ができないため、評価は次年度から行う。 ・数値の公表時期の関係により、評価は推計値で行い、前回数値については実数に修正する。				
数値	全国順位	中長期目標			根拠																				
		数値	目標年次	達成度																					
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		6 基準説明 当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。																							
7 評価結果 <table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td>23</td></tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>								23	-	-	-														
		23																							
-	-	-																							